



寺報の名前はもうちょっとだけだけ！

はくがんさん

白巖山 法住寺 発行

〒410-2501

静岡県伊豆市下白岩563

☎0558-83-0320 FAX0558-83-0391

<http://juryo.jp/>

令和5年秋(第2号)



法住寺LINE開設しました！ 登録よろしくおねがいします



ようこそ法住寺へ 〜給仕第一〜

新住職となりあつという間に半年がたちました。その間、檀信徒、縁者の皆さんが、この法住寺を支えて下さっていることを身に染みて感じています。改めて皆さんには感謝を申し上げます。

日蓮宗の僧侶の最初の修行は、総本山・身延山の信行道場での三十五日間の修行です。その道場新規には「給仕第一・行法第二・学問第三」という教えがあります。御本尊・仏さま・諸天善神が今まさに目の前にいらつっしゃることを感じご給仕をする。ご先祖さまが今目の前で生きていらつっしゃると思ひご給仕をする。そして周りの方が皆仏さまと思ひて接しご給仕をする。お経を読み、行をし、勉強するのは二の次三の次なのです。まずは自分の事より目の前の方ファーストの精神です。



信行道場の修行僧

先日、日頃よりお世話になつて
いるお上人にこんなことを言われた。「お坊さんは、目の前にいる人にかに給仕を出来るかが大事だよ。それが目の前の人に寄り添うということでもある」と。日蓮聖人も鎌倉時代に、迷ひ苦しむ方々に、心から寄り添ひ情熱をもつてお題目を伝えて、生きる力と善く生きる為の法華経を教え伝えて下さったのです。今でも日蓮聖人は、時空を超えて現在の私たちにも寄り添つて下さっていると思うのです。

僧侶として人に寄り添うとは？何となく理屈ではわかつていながらもモヤモヤしていた時に、最高のヒントを頂きました。いつもどこか自分の事を優先してしまっている私にとって心打たれる、信行道場での初心を思い出す言葉であった。玄関にいらした方に、自分がちやうどその時やっていることがあつても「ちやうど上がつていきませんか？お茶でもどうですか？」と、おもてなしの給仕を試みる。寄り添うとは、何か特別なことをするのはなく目の前の方を大切にする。「それがようこそ法住寺へ」の給仕第一。

「お寺もまだまだ捨てたもんじゃない」最近の私の口癖です。昨今「寺離れ」という言葉を聞きますが、私はそんなことないぞ！と思うのです。お寺は皆さんが人生の最期に節目を付け、魂の故郷にお帰りになる場所。その最期の場所が分かっているからこそ、今を精一杯、安心して生きることが出来る。そして何より今を善く生きる為の教え、生きていくお経が皆さんの法住寺にはあります。行学浅い私には、それを皆さんに上手にお伝えすることが出来るかわかりませんが、ご給仕は出来ます。給仕第一の精神があれば「お寺もまだまだ捨てたもんじゃない」



小さなお子さんも目の前のご先祖さまに給仕第一

三年ぶりに寺子屋道場開催

八月、三年ぶりの寺子屋道場を開催。山内の大木に自力で登るツリークライミング、境内では自分たちで考えた遊びで大ハシャギ。元気な御題目・太鼓・沢山の笑い声が響きました。



山下要さんご夫妻からの
美味しいスイカのご供養

前護持会長 伊東修さん 日蓮宗官長表彰受賞

伊東修前会長・ミナヨ奥様



法住寺開山の際、中心となって下さった開基檀越です。

御会式奉納 愉快に楽しく最後は皆で一本締

日蓮聖人第七四二遠忌 御会式を厳修致しました。白龍會の万灯奉納、子供たちの献花、護持会総会の後には参列者全員で日蓮聖人へ感謝の祝杯を挙げました。新米・野菜・清酒等、沢山の奉納を頂き、前日は総代・清水下班役員の奥様が献餅とお団子作り、当日は清水下班の女性陣の美味しい手作り料理を頂きながら賑やかに愉快な一時は最高の時間でした。最後に白龍會の小塚順一會長の一本締めにて今年の御会式を無事に終えることが出来ました。



白龍會の万灯奉納



子供たちの献花



賑やかで愉快な一時

檀家さんの手記が新聞に掲載！

いつもお寺を気にかけて下さる檀家さんの手記が伊豆日日新聞に掲載されました。本人のお名前を出したかったのですが、照れながら「恥ずかしいからヤダよう」とのことでしたのでお名前は出さずに紹介します。

受けた親切は親切で返す

今年の四月ははじめのことでした。子どもをのせて伊豆の国市の順天堂大学静岡病院へ行きました。雨が降っていて玄関の係の人が親切に、車椅子に乗せてくれました。

私は急いで車を駐車場に置きに行き、やっと診察が終わり、車を取りに行きました。エレベーターの入り口の精算機で料金を確認すると250円と表示されたので、500円玉を入れるとチャランと戻って来てしまいました。「あれ？」と思います今度は千円札を入れたらまた戻って来ました。

なぜだろうと、まごついていたら、知らない男の人が200円を入れて「50円いれな」と言ってくれたので50円を入れたら券が出てきました。どう返したらいいやらと思いつつ何もせず、何でその時500円玉を渡さなかったのかと後悔していました。

4月の半ば、家のお寺の住職さんが新し

くなり、いろいろと書いた文章の中に「人に親切にしてもらったことは、また自分も親切で返せばよい！」ありました。「あー、そうかな」と思いました。

6月にまた病院へ行きました。途中でお金を下ろせなかったので、車椅子を押したまま院内のATMに行くと「ブーブー」と音がしました。何だろうと思って見ると、お札が入ったままでした。前の人が取忘れたようなので、そっちへ行った人に大声で「あの、あの」と呼び、「お金が入ってますよ」と言うと、何も言わずに持っていました。住職さんの言った「出来る親切」がこれだったかと、良かったと思いました。

*伊豆日日新聞掲載

ご本人は「新聞に載せてもらうことで、あの時お礼を言えなかった男性が見ていてくれたらいいな」と笑顔で話してくれました。

年末の大掃除し隊 募集

十二月十七日（日）午前九時～お昼まで



毎年年末に仏天とご先祖さまに一年間の感謝を込めて、本堂大掃除を有志にて行っています。位牌堂では皆さんのご先祖さまの位牌を全て壇から降ろして丁寧に磨かせて頂きます。お昼には有志の松本之雄・由紀ご夫妻が最高の法住寺手打ち蕎麦をご用意下さいます。ぜひご堪能あれ！準備の都合上、ご参加頂ける方はご連絡下さい。皆さんの参加を心よりお待ちしております。

雄・由紀ご夫妻が最高の法住寺手打ち蕎麦をご用意下さいます。ぜひご堪能あれ！準備の都合上、ご参加頂ける方はご連絡下さい。皆さんの参加を心よりお待ちしております。

水行始まる！男女問わず行者募集

十一月一日より来年の二月十日まで日蓮宗大荒行堂では一〇〇日間の荒行開催されています。その一〇〇日間の荒行期間に合わせ、法住寺では毎日水行を行っております。

●水神さまの法水で
日々・一年間の
身と心の垢を水に流して頂く



●水神さまの法水は
心を豊かにしてくれる豊水

●水神さまの法水は
地から湧く水 力湧く力水



水神さまは浄行龍王水神明王といわれています。よく「水に流す」という言葉を聞いたことがあると思います。水神さまの法水にはその力があります。昨年は、年末大晦日水行以外にも、お一人さま、団体、会社、友達グループで五十人ほどの方が水行をされました。今年も期間中はいつでも受け付けています。希望の方は、いつでもご連絡下さい。共に精進致しますよう。

ご志納金 「七月〜十月」

相模原 三田 満 殿	墓地移転の砌
西 佐藤 薫 殿	尊母葬儀の砌
相模原 川田和幸 殿	尊母永代供養の砌
修善寺 小野家 殿	尊母永代供養の砌
西 佐藤 敦 殿	尊母葬儀の砌
元村 手老英子 殿	飯田家葬儀の砌
清水 土屋正次 殿	尊母十三回忌の砌
元村 伊東由廣 殿	尊父十七回忌の砌
伊豆の国市 田中慶子 殿	齋藤家葬儀の砌
元村 山下 要 殿	尊父十七回忌
	尊母十三回忌の砌
沼津市 故 瓜島宏子 殿	葬儀の砌
伊豆市 山田由治 殿	愛妻永代供養の砌
大京 松本之雄 殿	尊母葬儀の砌

ご志納

伊豆市 篤志者

特製金丸台一基
尊母追善供養の砌

● 月詣りと 月守り

私たちの両肩には
【健康を司る同生天、経済・財力を司る同明名天】俱生靈神
という御守護神が宿っています。お母さんのお腹に命を宿し
た時から御守護下さっています。一人一人個別に俱生靈神が
いらっしゃるのです。月守りは、個々のお守
りとして毎月一日に入魂開眼の御祈禱と願主
の祈願を行います。祈願会や月詣りで交換す
るのですが、来れない方には郵送してます。
ご希望の方はお申しつけ下さい。



花は野にあるように

～めくる季節の中で～



山百合



野菊



白山吹・紫蘭



あしずり野路菊



犬ジヨウマ・白秋明菊



サラシナシヨウマ



毎月お詣りをされる信者さんが、昌子さんの活ける野の花を楽し
みにして下さっています。お詣り毎に写真を撮り、昨年からのそ
の写真をLINEアルバムに送って下さいます。いつの日か、
写真集にでも出来たらいいななんて思っています。

毎日の説法より野の花一輪。
毎日、境内の至る所で教を説いてくれています。